

会長挨拶

日頃より、当倶楽部に対して多大な協力・ご支援を賜り誠にありがとうございます。

コロナ禍も3年目を迎えましたが、相変わらず予断を許さない状況にあり、日々の生活も自由にならず、皆様におかれましても感染対策等ご苦労されていることと思います。

昨年度、本学バレーボールでは大きな偉業が2つありました。

1つ目は男子バレーボール部の史上3校目となる全日本インカレ五連覇です。それも失セット1というほぼ完璧な内容での快挙達成でした。1年を通じて試合自体も思うようにできない状態が続き、個人個人のモチベーションの維持や体調の管理、チーム力の強化や調整が難しかったと思いますが、最後に最高のパフォーマンスを発揮してくれた部員ならびに関係者に感謝申し上げます。

女子バレー部も一部昇格を目標に掲げましたが、上位争いはするものの最後に力尽きてしまいました。少ない部員、一般学生からの登用などやりくりをしながらの現在の活躍には頭が下がります。学生たちはバレーボールだけでなく、日々の学生生活も満足に送っていない状態が続いており、コロナが収束し、一日も早く普通の生活に戻り、明るく楽しい学生生活を送ってほしいと願うばかりです。

もう1つは昨年開催された東京オリンピックにおける大塚達宣君の全日本メンバーへの選出です。結果も久しぶりのベスト8進出という好成績を上げましたが、出場に際しての寄付の呼び掛けに対し、多くの倶楽部メンバーにご賛同いただき、多大な支援・協力を賜りました。ありがとうございました。

その後の全日本メンバー、ユニバーシアードメンバーにおいても、Vリーグで活躍するOBを含めて本学バレーボール部関係者（監督も含め）が複数名選出されるなど、本学バレーボール部は現在の日本バレーボール界を支える存在にまでなりました。

もちろん、このような競技における活躍だけでなく、学生たちは技術の向上、人間としての成長に対して日々研鑽しており、意識の高さも大いに評価できるものだと思います。周りの関係者の方々が気持ちよく応援・支援したいと思えるチームに近づいていると感じます。

そして当倶楽部の取り組みについて2点ほど述べさせていただきます。まずは創部90周年事業についてですが、従来のような対面での祝賀会などは断念せざるを得ないものの、これまでの記念品・記録・写真などのアーカイブをデジタル化して保存し、倶楽部メンバーにご覧いただける準備を進めています。すでに記念物品の寄贈についてはご案内差し上げておりますが、クラブハウスの移転に際し、保管されている資料も改めて整理し、本学バレーボール部のデジタル記念館を目指して構築していきます。

また3年毎に作成・発行してきました会員名簿については、個人情報保護法の施行に伴い、当倶楽部におきましても行動指針を定めましたが、紙媒体による提供は二次利用の危険性が避けられず、多くの団体でも見合わせている状況を鑑み、情報の更新は行うもののその管理を含めた利用方法、紙による配布方法などは見直していきたいと考えています。

最後に、今年度も当倶楽部の目的である会員間の融和、懇親を深め、現役支援をさらに強化していきたいと思いますので、引き続き変わらぬご支援ご協力をお願いして2022年の会長挨拶とします。